

様式第10号(第6条関係)

令和6年3月31日

西条市長 玉井敏久 殿

会派名 自民クラブ
経理責任者 井上浩二

令和5年度政務活動費収支報告書

西条市議会政務活動費の交付に関する条例施行規則第6条の規定により、下記のとおり令和5年度政務活動費収支報告書を提出します。

1 収入(政務活動費) 1,260,000円

2 支出 1,260,000円

内訳

(単位:円)

科目	金額	備考
研究研修費		
調査旅費	1,260,000円	行政視察(2回)に係る旅費
資料作成費		
資料購入費		
広報費		
広聴費		
事務費		
その他の経費		
合計	1,260,000円	

3 残額

0円

注 備考欄には、主たる支出を記入してください。

この報告書には、支出が明らかな領収書等の証拠書類を添付してください。

支 出 伺

令和5年7月18日

本書金額を、政務活動費より支出してよろしいか。

代 表 者 印	経理責任者印	請求者	藤田 節雄																								
																											
令和5年度																											
科 目	<table><tr><td>☐ 研究研修費</td><td>☒ 調査旅費</td></tr><tr><td>☐ 資料作成費</td><td>☐ 資料購入費</td></tr><tr><td>☐ 広報費</td><td>☐ 広聴費</td></tr><tr><td>☐ 人件費</td><td>☐ 事務費</td></tr><tr><td>☐ その他の経費</td><td></td></tr></table>			☐ 研究研修費	☒ 調査旅費	☐ 資料作成費	☐ 資料購入費	☐ 広報費	☐ 広聴費	☐ 人件費	☐ 事務費	☐ その他の経費															
☐ 研究研修費	☒ 調査旅費																										
☐ 資料作成費	☐ 資料購入費																										
☐ 広報費	☐ 広聴費																										
☐ 人件費	☐ 事務費																										
☐ その他の経費																											
金 額	1,067,000 円																										
対象者氏名	藤田節雄、越智俊幸、西坂 壽、井上浩二、今井廣一、森川亜紀																										
支出内訳	<table><tr><td>1. 調査期間</td><td colspan="2">令和5年7月19日(水)～7月22日(土)</td></tr><tr><td>2. 調査場所</td><td colspan="2">北海道北見市議会・網走市議会・根室市議会</td></tr><tr><td>3. 調査人員</td><td colspan="2">6名</td></tr><tr><td>4. 予算支出額</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td> 旅費6名分</td><td>717,000円…①</td><td></td></tr><tr><td> バス借上料</td><td>350,000円…②</td><td></td></tr><tr><td>5. 政務活動費から支出する額</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td> 上記 ① + ② =</td><td colspan="2">1,067,000円</td></tr></table>			1. 調査期間	令和5年7月19日(水)～7月22日(土)		2. 調査場所	北海道北見市議会・網走市議会・根室市議会		3. 調査人員	6名		4. 予算支出額			旅費6名分	717,000円…①		バス借上料	350,000円…②		5. 政務活動費から支出する額			上記 ① + ② =	1,067,000円	
1. 調査期間	令和5年7月19日(水)～7月22日(土)																										
2. 調査場所	北海道北見市議会・網走市議会・根室市議会																										
3. 調査人員	6名																										
4. 予算支出額																											
旅費6名分	717,000円…①																										
バス借上料	350,000円…②																										
5. 政務活動費から支出する額																											
上記 ① + ② =	1,067,000円																										
支出年月日	令和5年7月18日																										
金銭出納簿 記載済印	井上浩二 																										

※ 領収書は、裏面に貼付すること。

領 収 書

Messrs. 西条市議会事務局

2023 年 8 月 14 日

Date

下記の通り正に領収致しました。
Received with thanks the sum of

株式会社 阪 急 交 通 社

HANKYU TRAVEL INTERNATIONAL CO. LTD.



¥ 350,000 -

但し内訳下記の通り

Particular:

以東事務局代

領 収 書

Messrs. 西条市議会事務局

2023 年 8 月 14 日

Date

下記の通り正に領収致しました。
Received with thanks the sum of

株式会社 阪 急 交 通 社

HANKYU TRAVEL INTERNATIONAL CO. LTD.



¥ 450,000 -

但し内訳下記の通り

Particular:

飛行機代

IT. No.

予約No.

ツアー名 西条市議会 御一行

出発日 2023 7.19

旅行費用 × 名 保険料 × 名

" × 名 " × 名

取扱手数料 × 名 消費税

社印及び取扱者
印の無いものと
び金額訂正の
ものは無効です。現金
Cashクレジット
Credit小切手
Cheque

銀行

支店 (No.

会社名 (

)

A 097772

取扱者名

IT. No.

予約No.

ツアー名 西条市議会 御一行

出発日 2023 7.19

旅行費用 × 名 保険料 × 名

" × 名 " × 名

取扱手数料 × 名 消費税

社印及び取扱者
印の無いものと
び金額訂正の
ものは無効です。現金
Cashクレジット
Credit小切手
Cheque

銀行

支店 (No.

会社名 (

)

A 097771

取扱者名

議事録	
決議年月	所管：議事
合議・供園先	議事内容
出張報告書	
文書分類	

令和5年8月8日

西条市議会議長

坪井剛殿

出張者 自民クラブ
藤田節雄
森川亜紀
今井廣一
井上浩二
西坂壽
越智俊幸

政務活動費による出張の概要を、下記のとおり報告します。

記

出張先	北海道北見市、網走市、根室市
出張機	令和5年7月19日(水)～令和5年7月22日(土)
出張用務	会派視察研修
	北海道北見市「窓口サービス改善の取り組みについて」 (概要) 北見市では、住民目線、職員目線から課題を抽出し、窓口業務の改善を行ってきた。最も住民との接点が多く、業務量の多い窓口業務を改善することで作業量が大幅に減り、住民サービスに寄与すると考えた。また、オンライン化が進むからこそ、窓口はスリムに、スマートに、ワンストップにと考えDXを進めている。また、人口減少化の中、2040年問題へ対応するために改善しなくてはならないと考え、早期より窓口改善に取り組んでいる。 (具体的な取り組み内容) 窓口業務の改善について、まずは課題を住民目線・職員目線で抽出。実際に新人職員が市役所窓口を利用し、不便さを体験した上で課題化、予算をかけずにできることから実施し、2013年度より事業化。アナログから改善。 ①カラーボードを使用し、案内表示を変更。課名では無く、手続き名で案内表示を行った ②証明申請書の統合化(申請ごとの書類ではなく、1枚で完結できるように) ③申請書様式の標準化(市役所の様々な窓口業務を共通のレイアウトに変更) ④ライフイベント別の手続きチェックシートを作成 ⑤本人確認の統一化(本人確認の取り扱いに関する規則を変更) ⑥認印の省略を実施 次に、事業計画の中で改善プロジェクトを発足。窓口業務はすべて【データ】であるという気付きを生かし、フロント業務を担うシステムを独自で開発。窓口を1か所にし、関連する手続きをまとめて受付を行う。RPAによる自動処理を導入し、各種証明書の出力操作・住民基本台帳システムの入力処理をRPAで自動処理化した。また、総合窓口でのワンストップサービスを実施しワンストップ対応している手続きを拡充した。お悔みワンストップに関しても、予約なしで来庁された方にも対応している。また、バックヤード業務の導線も改善し、職員の無駄な移動も無くした。今後も改善を重ね、住民目線の行政サービスを行う事で誰一

人取り残されない社会を実現する。

(結論)

西条市でも窓口のワンストップサービスを行っていきたいところであるが、しっかりとコンセプトを掲げ業務改善を行ってきた北見市は見習うべきものがあるため、わが市の担当課も是非視察に行っていきたい内容であった。好事例を取り入れたいため、北見市より該当職員を派遣していただき、わが市の状態把握と改善案を頂くのも良いと感じる。

北海道網走市「スポーツ合宿事業の取り組み状況について」

(概要)

網走市は、昭和63年のソウルオリンピック開催に伴い、網走市の夏季の気候が清涼であること。また、スポーツ施設等のトレーニング環境が充実しているなどの理由で、市内の各競技団体の努力もあり、ボート、女子体操、バドミントン、陸上長距離の4種目についての日本代表のオリンピック直前合宿が行われた。それを契機に合宿誘致及び受入のための実行委員会を立ち上げ、交流人口の増加がもたらす地域経済の活性化及び地域スポーツの振興を掲げ、本格的にスポーツ合宿事業を推進していくことになり、魅力ある各種サービスを提供し現在に至っている。

(具体的な取り組み内容)

東京ドーム9個分の敷地内に、ラグビー場1面、サッカー場2面、多目的広場4面、テニスコート16面、アーチェリーの、ランニングコースがあり、一般利用者向けにはローラースケート場、ゴーカートコース、おもしろ自転車コース、パークゴルフ場、幼児公園などがあり、センターハウス1棟、駐車場が4か所整備されている。

スポーツ合宿誘致のために、担当課では、スポーツ関連の団体や、今までに網走スポーツ・トレーニングフィールドを利用した団体を回り、誘致活動を実施した。平成20年度の施設の利用者は54,144名で、地元に対する経済効果は35億円であった。コロナ禍により令和3年度の施設の利用者は23,015名まで落ち込んでいたが、現在では回復傾向にあり、現在も、既利用団体以外の新規誘致のために各種スポーツ団体へ活動を展開中である。

(結論)

西条市でもスポーツ合宿の誘致には力を入れているところであるが、コロナ禍以降、スポーツ合宿誘致は低迷傾向である。コロナ禍が落ち着きを取り戻したため、現在は回復傾向にある。西条市には網走市のような気候風土とスポーツ・トレーニングフィールドを作ることにはできないが、現在のスポーツ施設をさらに充実させることは可能である。また、合宿誘致のための補助とサービスをさらに充実させ、地域経済の活性化を重視した政策をさらに展開していくことが必要である。

北海道根室市「根室市立小中学校の適正配置計画について」

(概要)

根室市の小中学校では校舎・体育館の全体面積の65.4%が築40年以上で、市街地地区の7小中学校では、79.3%もあった。人口減少により平成31年度からは2校あった高校が廃校となったため、廃校となった旧高校校舎を中学校校舎として活用を北海道に要望したが断られている。また、中学校3校の統廃合(改定前の計画)については、「反対」「課題あり」「不安」など多くの意見があった。小中学校7校のうち花咲港小は8人の小規模校で特別支援学校などを誘致して、障害の有無にかかわらず共に学ぶインクルーシブ教育(特別支援)を令和6年度から北海道内で初めて導入する。当面は小学校4校を3校に統合し、中学校3校を2校に統合したいと考えている。

(具体的な取り組み内容)

学校の統廃合を進めるにあたっては、スクールバスや乗り合いタクシーなども考えているが、バスの運転手の確保がネックとなっている。問題はいろいろあるが、できる事はすべてやってみないと市民の納得はなかなか得られないと考えている。

小学校は12学級以上が適正規模といわれているが、花咲港小学校は適正規模を満たしていないため、地域に対して統廃合を協議するも、通学上の影響が大きいことや災害時の避難場所がなくなるということで、市民からの存続の要望が強い。継続協議としているが、将来的には他の小学校との統廃合を考えているという。

中学校は9学級が適正規模といわれているが、3校ある中学校のうち、光洋中学校と啓雲中学校は適正規模を満たしていないが、当面の間は2校体制とし、将来的には1校体制にする考えであるという。

(結論)

学校の統廃合は地域と共に考え出来る限りの努力をする必要はあるが、計算通りにはいかない。市は学校の老朽化と学校ごとの将来の生徒数を予測し、学校の統廃合を早めに検討しておくことが必要で、地域にも説明しておく必要がある。

地域の要望も聞きながら丁寧に説明することも必要であるが、生徒数が少なくなれば学校がいろいろな理由で存続できないことも説明しておくべきである。西条市の場合、令和4年度から小中学校の統廃合の検討を始めたが、急を要する。

支 出 伺

令和6年1月16日

本書金額を、政務活動費より支出してよろしいか。

代 表 者 印	経理責任者印	請求者	藤田 節雄
			
令 和 5 年 度			
科 目	☐ 研究研修費 ☒ 調査旅費 ☐ 資料作成費 ☐ 資料購入費 ☐ 広報費 ☐ 広聴費 ☐ 人件費 ☐ 事務費 ☐ その他の経費		
金 額	193, 000 円		
対象者氏名	藤田節雄、越智俊幸、西坂 壽、井上浩二、今井廣一、森川亜紀		
支出内訳	1. 調査期間 令和6年1月17日（水）～1月18日（木） 2. 調査場所 鳥取県岩美町議会・兵庫県豊岡市クリーンパーク北但 3. 調査人員 6名 4. 予算支出額 旅費6名分 94, 200円 バス借上料 176, 060円 5. 政務活動費から支出する額 <u>193, 000円</u>		
支出年月日	令和6年1月16日		
金銭出納簿 記載済印	井上浩二 		

※ 領収書は、裏面に貼付すること。

11/11/2016

様

6 年 1 月 26 日

7	1	7	6	0	6	0
---	---	---	---	---	---	---

登録番号：T4500001009234

ときめきバスツアー好評募集中！

小切手

振 込



愛媛バス株式会社

本社

〒799-1302 愛媛県西条市楠甲547-1

TEL (0898) 66-0303 (代)

FAX (0898) 66-0307



取扱者

議決	議長	副議長	副議長	議員	議員	議員	議員
[Redacted]							
決議年月	期日	議事	[Redacted]				
合議・供託		出張報告書					
[Redacted]		[Redacted]					

令和6年3月14日

西条市議会議長

楠 學 殿

出張者

自民クラブ
藤田 節雄
森川 亜紀
今井 廣一
井上 浩二
西坂 壽
越智 俊幸

政務活動費による出張の概要を、下記のとおり報告します。

期間		記
出張先	鳥取県岩美町、兵庫県豊岡市	18日(木)
出張機	令和6年1月17日(水)～令和6年1月19日(金)	
出張用務	会派視察研修	
鳥取県岩美町「岩美町農山漁村再生可能エネルギー促進基本計画について」 (概要) 岩美町の大谷地区では、平成12年度から18年度に県営大谷地区経営体育成基盤整備事業を実施し、農地の大区画化を行ったが、事業地以外の農地では荒廃が進み将来的に耕作者を確保できる見込みもないことから、平成26年に地域住民から荒廃地を太陽光発電設備に転用したいとの要望があった。当該農地が農振農用地区内にあったため、原則として太陽光発電の設置を目的とした転用は出来ない農地だった為、再エネ法を活用し、第一種農地であっても転用を可能とした。 (具体的な取り組み内容) 地域への貢献を目指す㈱メディアが太陽光発電施設を整備、売電収入の一部を岩美町に還元する事とした(200万円/20年間)その間、固定資産税も町に入る。売電収入を活用して地元の農業者が主体的に農林漁業発展の取り組みを行えるよう「岩美町大谷クリーンエネルギーを創出する会」を設立。地権者、農業法人、農事実行組合が会員となり、農業用水路・農道等の維持管理、大谷地区のブランド米の品質向上及びPR、環境保護等の取り組みを実施。結果的に、景観上良くない荒廃農地の解消を図ることが出来た。(岩美町には山陰海岸ジオパークに指定されている海岸があるため、特に景観が損なわれることのないように配慮した)今後の取り組みとして、発電設備の整備や維持管理を地元企業へ委託することによる地元への雇用創出。同様の取り組みを横展開し、他の荒廃農地の有効利用へ波及させる予定。町からの提案型で2か所目の計画を検討中。 (結論) 地元出身者企業との連携により、荒廃農地に太陽光発電設備を設置することで景観を守る取り組みをしながら、売電収入の一部を町に還元する形で町の活性化を促している取り組みである。西条市で出来る取り組みとしては、同じように景観を崩している地域に対して、太陽光発電設備を誘致することは可能であるかもしれない。しかしながらその際には、数十年の契約満了時の状況について		

でもよく検討し(太陽光発電設備の廃棄の問題や、メンテナンスについて)誘致しなければと感じる。

概要報告

兵庫県豊岡市 北但行政事務組合クリーンパーク北但「クリーンパーク北但について」

(概要)

クリーンパーク北但は1市2町の快適な生活環境と自然を守るため、ごみ処理施設の広域化を進め、北但の里山環境の再生と循環をテーマに施設が運営されている。

敷地面積:36.6ヘクタール(建設用地は約2.6ヘクタール)

総工費:123億円

運用開始:平成28年からで、現在、8年目の施設である。

焼却炉方式:全連続燃焼式焼却炉(ストーカ炉)

発電設備:蒸気タービン発電機

運営:ほくたんハイトラスト株式会社

(具体的な取り組み内容)

この施設は、東京ドーム7つの敷地面積があり、建物の面積は東京ドーム1個ぐらいの大きさで、特に環境整備に力を入れている。地中のものから空の動植物720種類について、年4回から5回、専門機関が生態に変化がないかの調査を行い、結果は公表されており、今までに生態に問題が生じたことはないという。ペットボトルやビン・缶等についても最終の段階で手作業で再分別作業を行っているため、売価が高くなるように取り組んでいる。また、ごみ収集車も返る前には、内と外の洗浄を行い、使った水は再処理を行い、資源の無駄を省いている。こういった施設は通常負のイメージが強いため、安全だということを証明し、大人から子どもまでが集えるテーマパークに変えていきたいという。

(結論)

西条市では現在、新居浜市と新しいごみ処理施設の広域化・集約化を検討中であるが、新しいごみ処理施設ができた場合、環境にやさしい施設にする事が求められる。焼却で排出される電力の売電は当然であるが、各種の排ガスのモニタリング結果を施設の入り口に設置し、ごみの焼却時に発生するガスの状況をリアルタイムで公表し、安全性をアピールすることが必要で、大人も子どもも安心して集えることができるような環境整備が必要である。